

福島県立医科大学 学術機関リポジトリ



| | |
|--------------|---|
| Title | 災害こころの医学講座(論文・著書・発表等) |
| Author(s) | |
| Citation | 福島県立医科大学業績集. 30: 335-341 |
| Issue Date | 2020-03-19 |
| URL | http://ir.fmu.ac.jp/dspace/handle/123456789/1191 |
| Rights | ©2020 福島県立医科大学 |
| DOI | |
| Text Version | publisher |

This document is downloaded at: 2023-05-04T19:35:58Z

鈴木眞一（座長）．学会賞受賞講演 内分泌外科領域のさらなる発展をめざして．第 30 回日本内分泌外科学会総会; 20180628; 札幌.

鈴木眞一．日本内分泌外科学会 30 周年を記念して．第 30 回日本内分泌外科学会総会; 20180628; 札幌.

鈴木眞一．福島市に CPC を根付かせるために一外科の立場からみた CPC. 第 46 回福島内分泌懇話会; 20180828; 福島.

鈴木眞一（座長）．教育セミナー：甲状腺・副甲状腺に関する家族性腫瘍の遺伝医療. 第 51 回日本甲状腺外科学会学術集会; 20181025; 横浜.

鈴木眞一（座長）．TKI 時代の局所進行・再発甲状腺癌治療～手術から薬物療法までを駆使した治療戦略～（ランチョンセミナー）．第 51 回日本甲状腺外科学会学術集会; 20181026; 横浜.

鈴木眞一．原発性副甲状腺機能亢進症や甲状腺がんの疾患と治療選択、レグバラの使用経験に関して．協和発酵キリン社内勉強会; 20181130; 福島.

鈴木眞一．頭頸部領域における内視鏡手術の現状と展望（パネルディスカッション，特別発言）．第 31 回日本内視鏡外科学会総会; 20181207; 福岡.

災害こころの医学講座

論 文

〔原 著〕

Setou N, Fukumori T, Nakao K, Maeda M. Factors related to the fatigue of relief workers in areas affected by the Great East Japan Earthquake: Survey results 2.5 years after the disaster. *BioPsychoSocial Medicine*. 201810; 28:12-14.

Nakano H, Ohira T, Maeda M, Yabe H, Ohtsuru A, Suzuki Y, Harigane M, Horikoshi N, Nagai M, Zhang W, Takahashi H, Yasumura S, Iso H, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. Associations of disaster-related and psychosocial factors with changes in smoking status after a disaster: a cross-sectional survey after the Great East Japan Earthquake. *BMJ Open*. 201806; 8(6):e018943.

Orui M, Suzuki Y, Maeda M, Yasumura S. Suicide Rates in Evacuation Areas After the Fukushima Daiichi Nuclear Disaster. *Crisis*. 201809; 39(5):353-363.

Oe M, Maeda M, Ohira T, Itagaki S, Harigane M, Suzuki Y, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K, Ohto H.

Trajectories of Emotional Symptoms and Peer Relationship Problems in Children after Nuclear Disaster: Evidence from the Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 201801; 15(1):E82.

Itagaki S, Ohira T, Nagai M, Yasumura S, Maeda M, Suzuki Y, Mashiko H, Shiga T, Miura I, Yabe H. The Relationship between Sleep Time and Mental Health Problems According to the Strengths and Difficulties Questionnaire in Children after an Earthquake Disaster: The Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 201803; 15(4):E633.

Suzuki Y, Takebayashi Y, Yasumura S, Murakami M, Harigane M, Yabe H, Ohira T, Ohtsuru A, Nakajima S, Maeda M. Changes in Risk Perception of the Health Effects of Radiation and Mental Health Status: The Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 201806; 15(6):E1219.

Orui M, Nakajima S, Takebayashi Y, Ito A, Momoi M, Maeda M, Yasumura S, Ohto H. Mental Health Recovery of Evacuees and Residents from the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident after Seven Years-Contribution of Social Network and a Desirable Lifestyle. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 201810; 15(11):E2381.

Nukui H, Midorikawa S, Murakami M, Maeda M, Ohtsuru A. Mental health of nurses after the Fukushima complex disaster: a narrative review. *Journal of Radiation Research*. 201804; 59(suppl_2):ii108-ii113.

Murakami M, Hirosaki M, Suzuki Y, Maeda M, Yabe H, Yasumura S, Ohira T. Reduction of radiation-related anxiety promoted wellbeing after the 2011 disaster: 'Fukushima Health Management Survey'. *Journal of Radiological Protection*. 201812; 38(4):1428-1440.

Kitao M, Setou N, Yamamoto A, Takada S. Associated factors of psychological distress among Japanese NICU nurses in supporting bereaved families who have lost a child. *Kobe Journal of Medical Sciences*. 201805; 64(1):11-19.

Takahashi A, Ohira T, Okazaki K, Yasumura S, Sakai A, Maeda M, Yabe H, Hosoya M, Ohtsuru A, Kawasaki Y, Suzuki H, Shimabukuro M, Sugiura Y, Shishido H, Hayashi Y, Nakano H, Kobashi G, Kamiya K, Ohira H. Effects of lifestyle on hepatobiliary enzyme abnormalities following the Fukushima Daiichi nuclear power plant accident: The Fukushima health management survey. *Medicine*. 201810; 97(42):e12890.

Taku K, Prioleau PG, Anderson DS, Takeguchi Y, Sekine H, Maeda M, Yabe H, Yanagisawa RT, Katz CL. Medical Student Reactions to Disaster after the 2011 Great East Japan Earthquake: Motivation and Posttraumatic Growth. *Psychiatric Quarterly*. 201812; 89(4):1007-1018.

Hirosaki M, Ohira T, Yasumura S, Maeda M, Yabe H, Harigane M, Takahashi H, Murakami M, Suzuki Y, Nakano H, Zhang W, Uemura M, Abe M, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. Lifestyle factors and social ties associated with the frequency of laughter after the Great East Japan Earthquake: Fukushima Health Management Survey. *Quality of Life Research*. 201803; 27(3):639-650.

Murakami M, Tsubokura M, Ono K, Maeda M. New "loss of happy life expectancy" indicator and its use in risk comparison after Fukushima disaster. Science of the Total Environment. 201802; 615:1527-1534.

Habukawa M, Uchimura N, Maeda M, Ogi K, Hiejima H, Kakuma T. Differences in rapid eye movement (REM) sleep abnormalities between posttraumatic stress disorder (PTSD) and major depressive disorder patients: REM interruption correlated with nightmare complaints in PTSD. Sleep Medicine. 201803; 43:34-39.

瀬藤乃理子, 片桐祥雅, 西上智彦, 中尾和久. メンタルヘルスに対する運動の介入効果に関する近年の知見. 甲南女子大学研究紀要(看護学・リハビリテーション学編). 201802; (12):1-12.

前田正治, 鴻巣泰治, 岩見祐亮, 雫石真実, 松田聡一郎. 【災害とアルコール関連問題】 原発災害被災者と飲酒問題 とくに一次予防に焦点を当てて. 日本アルコール関連問題学会雑誌. 201805; 19(2):12-18.

堀越直子, 大平哲也, 安村誠司, 矢部博興, 前田正治. 東日本大震災後における生活習慣病のリスクがある避難者への電話支援による調査票への回答および医療機関受診の効果 福島県県民健康調査. 日本公衆衛生学雑誌. 201802; 64(2):70-77.

Maeda M, Oe M, Suzuki Y. 【Lessons learned on public health from the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident】 Psychosocial effects of the Fukushima disaster and current tasks: Differences between natural and nuclear disasters (福島第一原子力発電所での事故から得られた公衆衛生における教訓 福島原発災害による心理社会的影響と現在の課題 自然災害と原子力災害の相違). 保健医療科学. 201802; 67(1):50-58.

前田正治. 【精神疾患の背景にあるトラウマに気づく】 不安障害におけるトラウマ その臨床的意義. 臨床精神医学. 201807; 47(7):775-781.

〔総説等〕

前田正治. 災害支援とリハビリテーション概念 その共通性と有用性. 精神障害とリハビリテーション. 201806; 22(1):9-10.

〔研究報告書〕

伊藤浩充, 瀬藤乃理子. オーストラリア The University of Queensland 視察報告. 甲南女子大学研究紀要看護リハビリテーション学編. 201802; 12:61-68.

〔その他〕

前田正治. 原発事故と福島の春. 九州神経精神医学. 201812; 63:160-163.

著 書・訳 書

竹林 唯 訳. 第5章 セッション1～第10章 セッション7. In: ジョバンニ・A・ファヴァ 著, 堀越 勝 監修, 杉浦義典, 竹林由武 監訳. ウェルビーイング療法 治療マニュアルと事例に合わせた使い方. 東京: 星和書店;

201808. p.45-86.

竹林(兼子)唯, 鈴木伸一. 行動活性化 行動レパトリーを豊かにする. In: 岩壁 茂 編. カウンセリングテクニック入門 プロカウンセラーの技法 30. 東京: 金剛出版; 201809. p.265-274.

竹林 唯, 鈴木伸一. メンタルヘルスおよび精神症状の測定と評価. In: 鈴木伸一 編著. 健康心理学の測定法・アセスメント 保健と健康の心理学標準テキスト③. 京都: ナカニシヤ出版; 201807. p.112-138.

前田正治. 心的外傷後ストレス障害 post traumatic stress disorder(PTSD). In: 福井次矢, 高木 誠, 小室一成 総編集. 今日の治療指針 2018 年版. 東京: 医学書院; 201801. p.1025-2016.

前田正治. 福島のトラウマを考える. In: 池田香代子, 開沼 博, 児玉一八, 清水修二, 野口邦和, 松本春野, 安斎育郎, 一ノ瀬正樹, 大森 真, 越智小枝, 小波秀雄, 早野龍五, 番場さち子, 前田正治 著. しあわせになるための「福島差別」論. 京都: かもがわ出版; 201801. p.79-82.

竹林 唯 訳. 周産期の不安への行動的介入. In: エイミー・ウェンゼル, カレン・クレイマン 著 横山知加, 蟹江絢子, 松永美希 監訳. 周産期のうつと不安の認知行動療法. 東京: 日本評論社; 201809. p.164-194.

前田正治. 原発災害と被災者のメンタルヘルス いった何がもたらされたのか? In: 前田正治 編著. 福島原発事故がもたらしたもの 被災地のメンタルヘルスに何が起きているのか. 東京: 誠信書房; 201806. p.2-35.

桃井真帆, 前田正治, 堀越直子. 福島におけるアウトリーチ型電話支援 福島健康管理センターの試み. In: 前田正治 編著. 福島原発事故がもたらしたもの 被災地のメンタルヘルスに何が起きているのか. 東京: 誠信書房; 201806. p.162-179.

前田正治, 渡部育子. 被災者への「こころのケア」を考える ふくしま心のケアセンターの活動から. In: 前田正治 編著. 福島原発事故がもたらしたもの 被災地のメンタルヘルスに何が起きているのか. 東京: 誠信書房; 201806. p.180-198.

研究発表等

〔研究発表〕

竹林 唯, 中島聡美, 矢部博興, 前田正治. 抑うつを伴う不安症患者に「不安とうつの統一プロトコル」を実施した症例の報告. 第 29 回福島県精神医学会学術大会; 20180218; 福島. プログラム・予稿集. 12.

伊藤亜希子, 前田正治, 中島聡美, 桃井真帆, 後藤紗織, 堀越直子, 針金まゆみ, 竹林 唯, 矢部博興, 安村誠司, 神谷研二. 福島第一原子力発電所事故後 6 年を経た避難地域住民の心理社会的反応 ～平成 28 年度福島県「県民健康調査」自由記載から～. 第 37 回日本社会精神医学会; 20180301-02; 京都.

瀬藤乃理子. マインドフルネス瞑想とグリーフ～悲嘆の理解を深めるための糸口～. 霊性研究フォーラム第 10 回学術大会; 20180415; 京都.

前田正治. 自然災害後のトラウマティック・ストレス 九州での経験から. 第 17 回トラウマティック・ストレス学会; 20180609; 別府.

竹林 唯, 桃井真帆, 伊藤亜希子, 中島聡美, 後藤紗織, 八木亜紀子, 前田正治. 福島県で就労している行政職員のメンタルヘルスの実態に関する研究. 第 17 回日本トラウマティック・ストレス学会; 20180609-10; 別府. プログラム・抄録集. 105.

後藤紗織, 桃井真帆, 音地美穂, 及川祐一, 竹林 唯, 前田正治. 被災者への架電型電話支援の意義と課題. 第 17 回日本トラウマティック・ストレス学会; 20180609-10; 別府. プログラム・抄録集. 110.

前田正治. 故郷へ帰る事：原発事故後 7 年目の課題. 第 114 回日本精神神経学会学術総会; 20180622; 神戸.

前田正治. 原発災害とメンタルヘルスとくに放射線不安との関連. 原子力安全研究協会 甲状腺検県外検査実施機関連絡調整会議; 20180624; 東京.

前田正治. 県内外の被災者のメンタルヘルスの課題. 「心のケア」福島・山形・新潟三県連携事業 三県合同研修会・情報交換会; 20180720; 郡山.

前田正治. 原発災害とメンタルヘルスとくに放射線不安との関連. 原子力安全研究協会 甲状腺検査県外検査実施機関連絡調整会議; 20180722; 大阪.

瀬藤乃理子. 小児がん闘病中および終末期のリハビリテーションと家族への支援. 近畿小児血液・がん研究会; 20180729; 大阪.

前田正治. 県内外の被災者のメンタルヘルスの課題. 日本学会会議第二部 公開学術講演会; 20180805; ふくしま.

前田正治. 学校での危機介入. なごや子ども応援委員会緊急支援マニュアル作成部会学習会; 20180824; 名古屋.

前田正治. 原子力災害の心理社会的影響. 量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所第 2 回防護健康影響・短期過程; 20180826; 千葉.

前田正治. 地域を支える人々の心のケア. 九州北部豪雨復興支援講演会; 20180830; 朝倉.

竹林 唯, 前田正治. 日本における遠隔カウンセリングの現状 システムティックレビュー. 第 82 回日本心理学会; 20180925-27; 仙台. プログラム. 100.

前田正治. 災害からのこころの回復：とくに支援者の疲弊を支える. 第 39 回大分県精神保健福祉大会; 20181010; 大分.

前田正治. 原発災害がもたらすメンタルヘルス上の影響. 放射線と健康; 20181012; 郡山.

前田正治. 原発事故がもたらすメンタルヘルス上の影響. 放射線と健康; 20181016; 白河.

前田正治. 自殺予防に必要な事：日本、そして福島の現状から. 第 17 回健康いわき 21 推進市民大会; 20181017;

いわき.

竹林 唯, 大類真嗣, 中島聡美, 桃井真帆, 伊藤亜希子, 前田正治, 安村誠司, 大戸 齊. 複合災害被災者の幸福度・精神的健康に影響を与える要因の検討. 日本認知・行動療法学会第44回大会; 20181026-28; 東京. プログラム・発表論文集. 356.

前田正治. 医療従事者とトラウマ：とくにインシデント・アクシデント後のケア. 第32回国立大学付属病院医療安全管理協議会総会; 20181109; 富山.

瀬藤乃理子. あいまいな喪失と支援者のレジリエンス. 岩手県立病院医学会 地域連携医療福祉分科会; 20181116; 大船渡.

前田正治. 就労ストレス 睡眠. いわき市保健所 職員向けメンタルヘルスセミナー; 20181127; いわき.

前田正治. 県内外の被災者のメンタルヘルスの課題. 新潟県広域避難者支援研修会; 20181220; 新潟.

〔シンポジウム〕

前田正治, 竹林 唯. 福島における自殺対策：とくに復興期の就労者疲弊をめぐって. 第77回日本公衆衛生学会総会; 20181024-26; 郡山. 日本公衆衛生雑誌. 65(10 特別附録):356.

〔特別講演〕

瀬藤乃理子. あいまいな喪失の理解とその支援～喪失の中にある家族を支える視点～. 第21回日本臨床パストラルケア研究会学術大会; 20180624; 仙台.

瀬藤乃理子. 難病をもつ子どもの支援からあいまいな喪失を考える. 第35回日本家族療法学会; 20180810; 高崎.

〔その他〕

Maeda M. Mental health in emergencies. HICARE International Training Course on Medical Response to Radiation Accidents and Disasters; 20180219; Hiroshima.

前田正治. 原発災害とメンタルヘルス とくに放射線不安との関連. 原子力安全研究協会 甲状腺検査県外検査実施機関連絡調整会議; 20180107; 仙台.

前田正治. これからの広域避難者の帰還と福島県内の支援体制について. 福島支援者サポート事業; 20180111; 新潟.

前田正治. Mental health consequences after Fukushima disaster. 第7回国際シンポジウム：放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム; 20180127; 広島.

前田正治. 福島における支援者のメンタルヘルス. 支援者向けストレスケア研修会; 20180215; いわき.

前田正治. 輸送災害とトラウマ. 2017 年度マレーシア国別研修「LEP2.0 被災者への心理的ケア」; 20180217; 神戸.

前田正治. 災害と心の健康. 第 28 回北九州市民精神保健福祉の集い; 20180303; 北九州.

前田正治. 原発事故後のメンタルヘルス問題. 平成 29 年度診療放射線技師研修会; 20180308; 東京.

前田正治. 支援者の心の健康. 第 17 回震災こころのケア交流会みやぎ in 石巻; 20180316; 石巻.

瀬藤乃理子. ケアする人のケア. NPO 法人仙台グリーフケア研究会主催第 3 回グリーフケアの担い手講座講師; 20180323; 仙台.

瀬藤乃理子. 「あいまいな喪失」をかかえる認知症患者家族のストレスとその支援. 京都グリーフケア協会主催 2018 年度グリーフケアセミナー講師; 20180923; 京都.

放射線腫瘍学講座

論 文

〔原 著〕

Saijoh S, Matsuzuka T, Sato H, Suzuki M, Ikeda M, Suzuki R, Nakaegawa Y, Omori K. Long-term outcomes of alternating chemoradiotherapy in patients with advanced nasopharyngeal cancer: A single-centre experience over the last decade. *Acta Otorhinolaryngologica Italica*. 201804; 38(2):103-108.

Mimura K, Teh JL, Okayama H, Shiraishi K, Kua LF, Koh V, Smoot DT, Ashktorab H, Oike T, Suzuki Y, Fazreen Z, Asuncion BR, Shabbir A, Yong WP, So J, Soong R, Kono K. PD-L1 expression is mainly regulated by interferon gamma associated with JAK-STAT pathway in gastric cancer. *Cancer Science*. 201801; 109(1):43-53.

Ohno T, Noda S, Murata K, Yoshimoto Y, Okonogi N, Ando K, Tamaki T, Kato S, Hirakawa T, Kanuma T, Minegishi T, Nakano T. Phase I study of carbon ion radiotherapy and image-guided brachytherapy for locally advanced cervical cancer. *Cancers*. 201809; 10(9):E338.

Ando K, Suzuki Y, Kaminuma T, Yoshimoto Y, Oike T, Okonogi N, Sato H, Tamaki T, Noda SE, Mimura K, Nakano T. Tumor-specific CD8-positive T cell-mediated antitumor immunity is implicated in the antitumor effect of local hyperthermia. *International Journal of Hyperthermia*. 2018; 35(1):226-231.

Okonogi N, Suzuki Y, Sato H, Oike T, Yoshimoto Y, Mimura K, Noda SE, Okamoto M, Tamaki T, Morokoshi Y, Hasegawa S, Ohgaki H, Yokoo H, Nakano T. Combination Therapy of Intravenously Injected Microglia